

平成24年度 京都府立大学地域貢献型特別研究 (ACTR) 成果

分類 番号	A10	取組 名称	京都府北部の生物多様性の解明と保全、ならびに地域学術情報の集積と探求 拠点の構築に関する研究
研究代表者：		生命環境科学研究科	職・氏名： 准教授・中尾史郎
研究担当者： 京都府立大学（大迫敬義、糟谷信彦、吉安 裕（敬称略）） 外部分担者・協力者（沢田佳久氏、黒田悠三氏、松尾秀行氏 ほか）			
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名） 京都府舞鶴市、京都府京丹後市、青葉山レンジャー隊、丹後・若狭虫の会、若狭湾生物同好会、兵庫県立人と自然の博物館 など			
【研究活動の要約】			
<p>（可能な限り府民目線で、分かりやすく簡潔に御記入ください。）</p> <p>文化財「冠島」と観光地「琴引浜」の貴重な自然資源の実態とその保全策に資する生物資源情報を植物と昆虫に注目して収集した。特に、無人島の自然遷移、ならびに海浜生態系の絶滅危惧種の生息状況を把握した。また、舞鶴市に起源する京野菜の栽培において生物農薬として利用可能な天敵昆虫を舞鶴市において探索して有望種を抽出し、その利用に資する休眠性の解明をおこなった。これらは、京野菜栽培における化学合成農薬使用の低減、ならびに文化財と観光資源の保全と利用に活用できることから、報告文や舞鶴市での成果報告会、鳴き砂文化館での講演会を通じて市民に広く公表した。</p>			
【研究活動の成果】			
<p>（最も端的な成果について、分かりやすく御記入ください。）</p> <ul style="list-style-type: none"> * 冠島で約 150 種の昆虫を確認したが、そのうちの約 20 種が新記録であった。その詳細から環境変化が把握でき、文化財（天然記念物）の修復や保存に資する情報が得られた。 * 京都府版および全国版のレッドデータリストに掲載されている希少な昆虫類を琴引浜周辺と冠島で多数確認し、貴重な証拠標本を確保できた。その結果を京都府の新レッドデータリストに反映する。 * これらは自然愛好家や生物研究者の関心を集める対象であり、生息環境の自然性が観光資源として保全に値する。そのため、このような生物を指標とした環境保全が可能となり具体的検討ができる。また、京都府北部の地域固有の生態システムや生物を教育素材として活用する素地を得た。 * 京都府北部の野生動物に生物農薬として有望な昆虫のあることを見いだし、地域個体群の休眠特性を把握した。これは大量生産や利用方法についての重要な知見となり、トウガラシ栽培などにおける今後の実用試験が可能な体制に近づいた。 			
【研究成果の還元】			
<p>（開催した発表会・成果報告会等の開催日、場所、参加者 等を御記入ください）</p> <p>H24/9/16 京丹後市琴引浜鳴き砂文化館、市民約 20 名「京丹後市の花トウテイランの魅力を探る」</p> <p>H25/3/2 舞鶴市商工観光センター、市民約 40 名「京都府北部の生物多様性の解明と保全」（要旨集は Web で PDF 版を入手可）</p> <p>（報告書、論文等のタイトル、希望者への配付/閲覧の有無 等を御記入ください）</p> <p>「京都府冠島におけるオオミズナギドリ影響下の森林の群落構造」京都府立大学学術報告 64 号（府大図書館で閲覧可）</p> <p>「京都府冠島におけるアカマダラハナムグリの初記録とカンムリセズゲンゴロウの再発見」京都府立大学学術報告 64 号（同上）他</p>			
【お問い合わせ先】 生命環境学部（研究科）応用昆虫学研究室 准教授・中尾史郎			
E-mail: nakao@kpu.ac.jp			

参考（イメージ図、活動写真等）

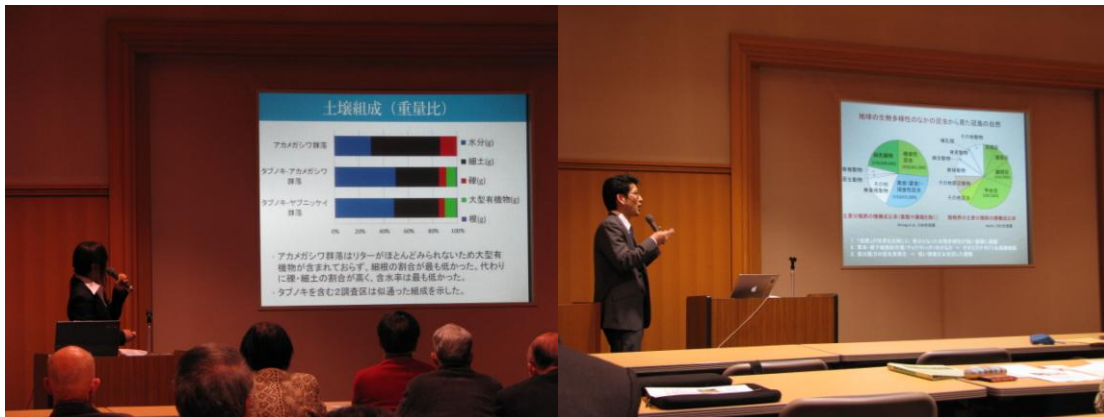


写真. 平成 25 年 3 月 2 日に舞鶴市にて成果報告会を開催（3 題の発表）



写真. 舞鶴市での成果報告会事後報道（京都新聞 3 月 3 日）



写真. 平成 24 年 9 月 16 日に京丹後市にて講演会



写真. 京丹後市での調査打ち合わせと現地検討会（平成 24 年 7 月と 9 月に実施）